

平成 2 9 年度教育計画

【教育目的】

国立病院機構の能力開発プログラムをベースとして、経験を積み重ねながら主体的に学習し、自己のキャリア開発を行う。

【教育目標】

- 1. 臨床実践能力を高める為に必要な知識・技術・態度を身に付ける。
- 2. 患者の人権を尊重し、患者・家族・多職種との良い人間関係を保つことができる。
- 3. 看護専門職として、自己の役割に応じた能力を高めることができるように自ら学ぶ姿勢を持つ。
- 4. 組織の一員として、経営参画の意識を持つ。

		目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ラダーⅠ		1) 病院および看護部の理念を理解し、看護職員として責任ある行動がとれる 2) 職場への早期対応と看護実践者としての基本的な能力を習得し、自己の看護観を明確にする	技術演習： 与薬・拘束 4/5(水) 14:00		薬物療法とリスクマネジメント 6/14（水） 14:00			プロセスレコードの検討 9/6（水） 15:00		看護倫理 11/8（水） 14:00			看護観発表 2/14(水) 14:00	
ラダーⅡ		1) 看護実践者として基本的な能力を基盤として根拠をもって、対象の状況に応じて実践できる		受け持ち看護師としての役割 自己の情報収集アセスメントの振り返り	薬物療法とリスクマネジメント			プロセスレコードの検討		看護倫理			ケーススタディ発表 2/14(水)	
ラダーⅢ		1) 患者の個別性を重視した看護実践ができる		ケーススタディテーマの絞り込みについて 5/31(水) 14:00	薬物療法とリスクマネジメント 6/14（水） 14:00			プロセスレコードの検討 9/6（水） 15:00		看護倫理 11/8（水） 14:00 熊本再 春荘病院研修 4 日間	ケーススタディ発表 12/13(水) 14:00			
ラダーⅣ	リフレクション	1) 看護実践の中から看護の意味を振り返り、看護実践に活かすことができる。			リフレクション 6/28（水） 15:00				リフレクション 10/11（水） 14:00			リフレクション発表 1/16(火) 14:00		
	リーダーシップ QC	1) 業務の質の向上を図るため、テーマに沿って業務改善を図るための役割行動を認識し、調整能力を高めることができる。			リーダーシップとは 6/16(金) 14:00			集団へのアプローチの仕方について 9/5（火） 14:00					リーダーシップ行動評価 2/6（火） 15:00	
ラダーⅤ	看護研究	日常の看護実践から生まれる研究疑問を科学的視点でまとめることができる。	看護研究とは 大坪先生 4/13 13:30 （木）		研究計画書 大坪先生 6/12（月） 13:30				データ分析指導 大坪先生 13:30		データ分析指導 大坪先生 13:30		研究発表 大坪先生 14:00	
	専門看護	専門分野における看護実践を振り返り、看護の専門性を深めることができる。		1 回目 5/24（水） 15:00		2 回目 7/26（水） 15:00			3 回目 10/25（水） 15:00	4 回目 11/29（水） 14:00		完成 1/31（水） 15:00		
全体研修		フィジカルアセスメント能力を高め、適切な報告ができる				フィジカルアセスメント 1 7/5（水） 15:00			フィジカルアセスメント 2 10/4（水） 15:00			フィジカルアセスメント 3 1/10（水） 15:00		